

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和3年6月分：速報)

<対世界>

- 輸出総額: 7,329 億円(伸率: +31.2%) ⇒ 4か月連続のプラス
 - ・順位: 30位、6月としては3位
(順位は、昭和54(1979)年1月以降(510か月、6月は43か月)による。以下同じ。)
 - ・増加品目: 自動車(同+58.6%)、鉄鋼(同2.1倍)
- 輸入総額: 6,051 億円(伸率: +54.2%) ⇒ 3か月連続のプラス
 - ・順位: 77位、6月としては7位
 - ・増加品目: 原粗油(同3.0倍)、金属鉱及びくず(同+86.9%)
- 差引額: 1,277 億円(伸率: ▲23.0%) ⇒ 78か月連続の輸出超過
 - ・順位: 51位、6月としては6位
 - 為替レート: 2021年6月: 109.50円/ドル(2020年6月: 107.78円/ドルと比べ1.6%の円安)

<品目別動向>

○輸出

自動車(1,136億円→1,802億円、伸率: +58.6%)は、アメリカ(137億円→345億円、同2.5倍)及び中国(616億円→791億円、同+28.5%)向けが増加し、5か月連続のプラスとなった。また、鉄鋼(321億円→683億円、同2.1倍)は、タイ(31億円→141億円、同4.5倍)及び韓国(38億円→99億円、同2.6倍)向けが増加し、8か月連続のプラスとなった。

一方、船舶(634億円→332億円、同▲47.6%)は、バハマ(91億円→実績なし)及びマーシャル(117億円→59億円、同▲49.6%)向けが減少し、2か月連続のマイナスとなった。

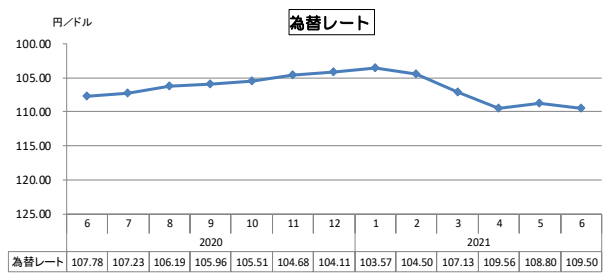
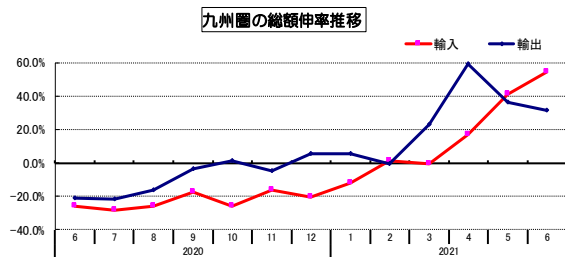
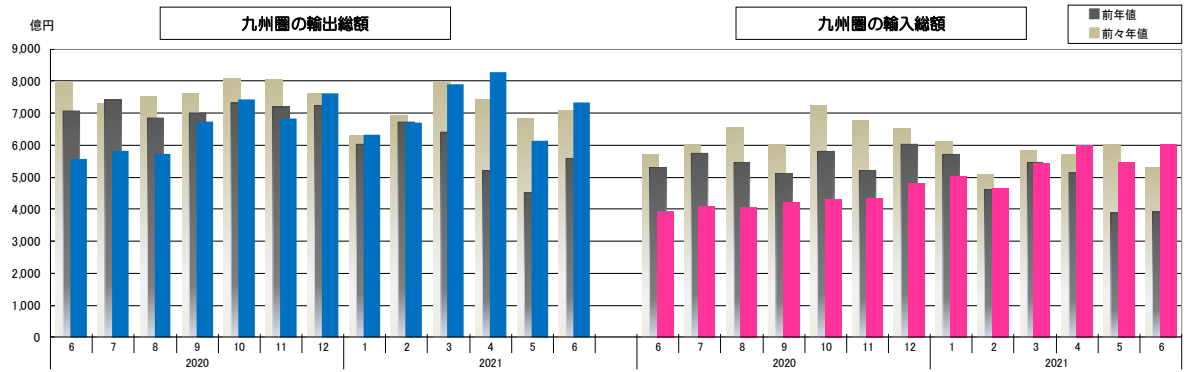
○輸入

原粗油(214万KL→216万KL、伸率: +1.0%、349億円→1,031億円、同3.0倍)は、数量、価額ともに増加し、2か月連続のプラスとなった。また、金属鉱及びくず(472億円→882億円、同+86.9%)は、鉄鉱石(151億円→357億円、同2.4倍)が増加し、8か月連続のプラスとなった。

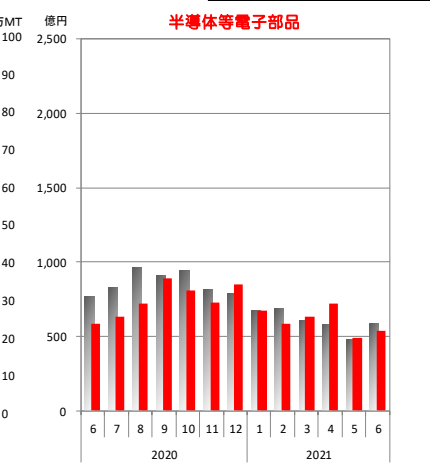
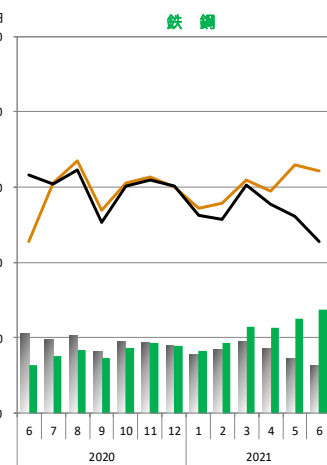
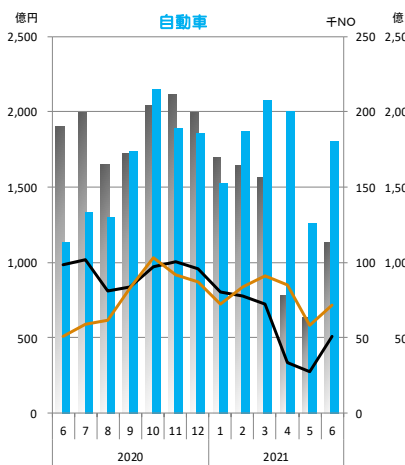
一方、液化天然ガス(37万MT→32万MT、同▲11.4%、177億円→168億円、同▲5.3%)は、数量、価額ともに減少し、2か月ぶりのマイナスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

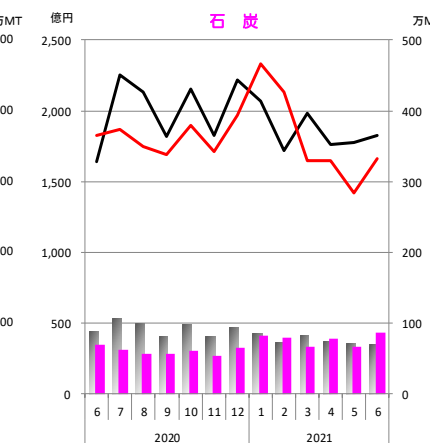
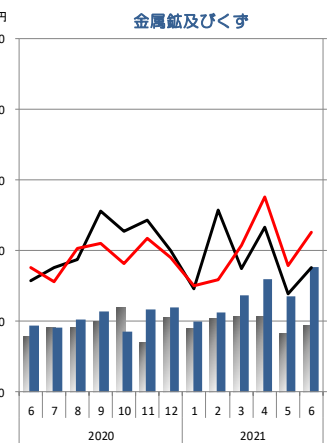
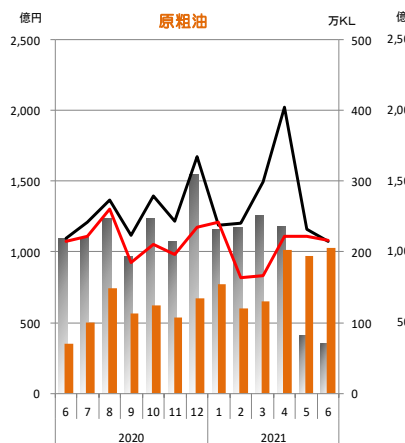
令和3年6月分：速報



九州圏の輸出主要品目推移



九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。